

令和元年度 第2回

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会 会議録

- 日時：令和元年10月10日（木）10時00分～11時35分
- 場所：市民交流プラザ 5F 中会議室
- 出席委員：松原座長、及川委員、武田委員、肥塚委員、伊庭委員、堀江委員、片岡委員、加藤委員、神部委員、秦委員、阪本委員
- 欠席委員：北中副座長、田畑委員、服部委員、青木委員、松浦委員、深尾委員
- 傍聴者：なし
- 事務局：木村理事、本村調整員、中瀬参事、坂居専門員、田村囑託職員

【事務局】

定刻になりましたので、只今より令和元年度第2回アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会を開催させていただきます。

まず、配布資料の確認をさせていただきます。

(配布資料の報告)

ここで、次第に入ります前に、前回の懇話会終了後に委員の変更がございましたので御紹介させていただきます。株式会社滋賀銀行草津支店長様の人事異動に伴い、肥田明久様に代わりまして片岡一明様に新たに委員を委託させていただきました。片岡様から一言御挨拶をお願いします。

【片岡委員】

この6月の人事異動で草津支店に赴任してまいりました。地域の発展のために皆様とともにいろんな意見を出しながら取り組んでまいりたいと思いますので、よろしく願いします。

【事務局】

ありがとうございます。

なお、本日、御欠席の連絡をいただいております方もおられます。

それでは、次第に従いまして進めてまいりたいと思います。開会にあたりまして、座長の松原先生から御挨拶をいただきます。

【座長】

皆様、おはようございます。今年度も早くも前半期が過ぎ、地球の自転が早くなったかのような時間の早さを感じております。

ここ数年異常気象が続いていますが、今回も10月に入って超大型の台風がやってきてUDCBKの企画にも影響するということが伺っております。また、この季節は地域での様々なまつりやイベントが週末に企画されていますが、そちらにも影響するかと思います。また、先日も千葉県の方で台風によって大きな被害が出ておりますけれども、災害に強いまちづくり、防災ということは今まで以上に考えなければならないと感じたところです。

さて、UDCBKにつきましては、ちょうど3年前の2016年の10月に開設されて、最初はフェリエ南草津の5階に設置されていたのですが、2年前の8月に現在の西友のところに移転しております。やはり3年経って活動も浸透してきたのではないかと感じておまして、徐々に認知度が上がって南草津駅前にこのように集まる場所があるということが浸透してきたような気がしております。

また、全国的な動きですが、先月末に埼玉県で行われましたアーバンデザイン会議に及川委員、武田委員、事務局の中瀬参事が参加され、全国的な動向についても後で報告があると伺っております。本日は、今年度の事業実施状況と後半期の計画について報告を受けて議論していただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上で開会にあたっての挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。続きまして次第の2番目の報告についてでございます。ここからは、司会進行を松原座長にお願いしたいと思います。松原座長よろしくお願いいたします。

2. 報告

【座長】

それでは、次第の2番目の報告事項でございます。本日の報告事項は1つです。今年度実施事業実績および計画について、事務局から御説明をお願いします。

(事務局から資料の説明)

【及川委員】

簡単な補足だけさせていただきます。

まず、今年度前期のアーバンデザインスクールですが、『アーバンデザイン講座』という本が昨年出版されて、主に大学のアーバンデザインという講義で使えるよう全

部で15章あるのですが、その著者5名全員をお招きしたものです。どういう5名かという、日本で最初の柏市にあるアーバンデザインセンターの創始者であり、もう亡くなられましたが私の友人の東京大学の北沢猛先生の教えを受けた大学院生や助手です。今回はそれぞれに15章あるうちの1章ずつをお願いし、前期の最終のテーマにアーバンデザインとアーバンデザインセンターを予定していたのですが、残念ながら台風で中止となりました。前田先生には大事な話なのでまたどこかでお話いただこうかと思っております。

実は全部で15章あるので、あと2回は続けられると思っております、追々考えていきたいと思います。コアなメンバーがほぼ毎回、アーバンデザインとはどういうものかということを紹介していただきました。いずれの講師も事前に草津川跡地公園等、草津のまちを歩かれ、UDCBKを御覧になって活気があってとてもいいまちだと褒めていただいたので、この勢いを保持していきたいと思っております。

次に、アーバンデザイン会議ですが、今年で第7回となっておりますが、UDCBKができる前の第3回あたりに出席したときには知り合いばかりの集まりであったのが、今回は100名を超える出席者があり、景色も大きく変わりました。UDCの創始者である北沢先生はアーバンデザインセンターを全国で100箇所つくりたいと生前おっしゃっていましたが、現在21箇所あるうち、UDCBKは全国で13番目ですので、私たちもUDCの後輩に参考になる情報発信をしていかなければと思います。今回は公共の役割をテーマにしており、全国で公共の役割が違うということがよく分かりました。公共セクターとUDCの関係についてアーバンデザインスクールでお招きした野原先生がお話され、中瀬参事もパネラーとしてUDCBKについて報告いただきました。また、珍しく3つのグループに分かれてディスカッションをする時間があり、お互いにどのような問題を抱えてどのように対処しているのかという情報交換が非常によくできたのでよかったです。配られたパンフレットの中でも、UDCOはストリートテラス、都市計画道路のできる前の出っ張りや引込みを利用してイベントを行っているものの紹介なども参考になってよかったです。UDCBKもネタはあると思うので、情報発信のデザインを考えて発信したほうがいいと思えました。

【座長】

只今の報告につきまして委員の皆様から意見を頂戴したいと思います。どの点でも結構ですので御意見を、またこういうことをしたほうがいいのではというアイデアをお願いします。

【A委員】

意見が3つあります。

1つ目は、UDCBKを毎日のように使わせていただいておりますが、すごく雰囲気も

よくて楽しく使わせてもらっているものでありがとうございます。

2つ目は、質問ですが、アンケートとホームページを前回の懇話会を踏まえて変えま
すと報告にあったのですが、もう始まっていますか。

【事務局】

まだ新設のほうは始まっていないです。今回の懇話会で皆様の御意見をいただいてか
ら始めようと思っています。利用カードのほうはすでに一部で始めています。

【A 委員】

アンケートはすごくいいと思います。早く始めればいいのにと考えたのですが、今回
の懇話会での意見を聞いてから始めるということであれば分かります。

新設のアンケートもすごくいいと思うのですが、何のために UDCBK をつくって
いて、その目的がしっかりと達成されているのかを見るためのものだと思うので、ニーズ
調査も大事かもしれませんが、そもそも UDCBK のオープンスペースが予想通りの使
い方になっているということはこの懇話会で証明してほしいと思いました。

3つ目は、フェイスブックについてなのですが、先ほどの事務局の説明で10月5日
のまちライブラリーがすごくよかったのはよく分かったのですが、今フェイスブックを
見てもそれが載っておりません。週3回だからもうすぐ載るのかもしれないのですが、
せめて終わってすぐに載せてほしいです。フェイスブックは今の世界を切り取っている
ものなので、世間の使い方に市役所も寄ってくれたらと思います。前よりよくなってい
るのでさらによくなってほしいと思います。フェイスブックでアーバンデザイン会議の
シェアもいいのですが、単なるシェアではなくて自分たちの言葉を入れてシェアすると
か報告会をするとかがあってもいいと思います。

【座長】

ありがとうございました。今日の報告について今の御意見も踏まえて一通り意見を
いただいて事務局から回答していただくかたちでどうでしょうか。

【B 委員】

1つ目は、5ページからの草津市版地域再生計画のことですが、今後どのような取り
組みをしようとしているのか考えがあれば教えてください。

2つ目は、都市と交通のシナリオスタディです。今年度どこかで研究会の成果の報告
会を可能な範囲でしていただいたほうがいいと思うのですが、いかがでしょうか。

【事務局】

草津市版地域再生計画ですが、市職員も入って合同で食のソーシャルイノベーション

研究会を UDCBK や立命館大学を使って行っています。この間、月1回のペースで研究会と先進地の見学を行いました。御存知のとおり、地域再生計画は草津市の場合は7地域が指定されていますが、現在、同研究会は食を切り口にまちづくりに寄与していこうとしております。食とまちづくりのテーマで3回シリーズで行ったアーバンデザインセミナーにまちづくり協議会の役員も数名参加いただいておりますし、主体はそれぞれの地域の方ですので、一緒に知恵を出し合って進めていきたいと考えています。今後は12月に立命館大学である地域デザイン学会のフォーラムの中で、取組の一定の成果を発表できればと考えております。当然1年間で終わりではないので、長期的なスパンで一緒に進めていくことになろうかと思っております。UDCBK としては来年度以降、一定の成果の報告をしていくことになると思います。

【C 委員】

先ほどの都市と交通シナリオスタディプロジェクトの件ですが、元々は昨年度に交通の話アーバンデザインセミナーで行っており、例えば「駅から始まるまちづくり」というかたちなど、滋賀県の方々にも入ってもらいながら、南草津周辺の交通の話をしてもらったりしていました。今、立命館大学で交通を専門にしている塩見先生にも入っていただきながら議論を行っていただいておりますが、やはり交通の点と線だけを考えていくことだけでは、まちのリアリティを想像するのは難しいと思っています。交通のことをベースに置きながらも、将来的にどのようなまちを目指すのかということをお話し合う方法を開発したいと考えて取組を行っております。

なぜシナリオと言うかということ、たちまちまちをどう変えるのかというのは地権者等様々な権利を持っておられる方々がおられ、立場も様々ですので、将来例えば20年、30年後にこのような方向に世の中は変わっていくのではないかとシナリオをいくつか立ててみると少し俯瞰した議論ができるのではないかと考えているからです。

来年度、具体的に市民や企業の皆様や学生などを交えてワークショップを行い、ただワークショップの模造紙で終わるのではなく、そこに可能であればどこかに予算をつけてコンサルに絵を描いてもらいたいということも議論しています。

今は自分たちだけでやってみてどのような進め方ができるのだろうかということをやっています。今は行政の職員の皆さんなので情報量がある中でしているのですが、いざ市民等が入って情報がない中で同じような議論ができるのか、ただのガス抜きになつてしまわないようにするにはどうすればよいのか考えています。

南草津の駅前中心のまちを考えるやり方やインターチェンジを中心にまちを考えるやり方なども議論しています。また、インターチェンジが単なる物流拠点となってインターチェンジからびわこ文化公園都市ゾーンとの横のつながりがほとんどないので、JRの拠点とインターチェンジの拠点の間のつながりがなかったらどうなるのか、そこが自動運転など長期的な視点でうまくつながれば都市空間としてどのような空間

になるのかなども議論していて、今すぐできないとしても少し先の市を考えたら今は最低限このようなことをしようということを市や県の方とも共有できているかと思いません。

【座長】

地域再生計画と交通の研究会については今のお話の中でどのような議論がされているのかがよく分かりました。ほかの皆様からも御意見はございませんか。

【D 委員】

まちライブラリーの取組は面白いと思いました。今の報告を聞いてアーバンデザインセンターではたくさんの事業を行っておられ、職員の役割も大変なように思うのですが、社会実験事業とセンターの役割のコーディネートはどのようになっているのですか。

【事務局】

都市連携プロジェクトの中で動いております社会実験等準備事業の住民参加の公園づくりというのは単独で動いている事業です。プリムタウンの公園についてはすでに市に帰属を受けていますが、今何も整備が進んでいない状況の中で、実際に住まれる方にもどのような可能性があるのかという実験をしていただいております。

まちライブラリーはそれとは別で、まちの中にそのようなものがあれば人の流れがどのように変わるのか、また交流がどのように生まれるのかを見るものとして、少しずつ本を持ち寄るところから始めたものです。

プリムタウンでの社会実験は立命館大学の金先生を中心に行っていただいておりますし、来年につなげるものとして行っていただいておりますし、まちライブラリーは学生主体で行っていただいております、その間に UDCBK 職員は入って行政としてできること、この範囲ならできますよとか助言をするようなかたちで関わらせていただいております。

【D 委員】

UDCBK は非常に多く取組があるように思うのですが。

【事務局】

UDCBK は市の組織の中に位置づいておりますので、市職員として関わらせていただくところと一緒にプレーヤーのように活動として関わらせていただいているところとそれぞれあります。

【C 委員】

まちライブラリーについてですが、簡単に言うと公園を中心としたまちづくりのど真

ん中の事業はまだできていないのですが、一方でまちライブラリーの活動は以前から続けていました。例えば神戸市の東遊園地というところでアーバンピクニックというイベントをされているのですが、そこにもまちライブラリーが入っていたりするので、まちライブラリーをやるのであれば例えば南草津駅の西口のあまり使われていない公園に内部的にイベントの中で本棚があるという働きかけをしていきたいという思いがあり、今少し手をかけているところです。

また、プリムタウンのほうは開発がどんどん進んでいって、来年度に向けて家が建っているのですが、公園が5つあって整備されるのは数年後になっているので、整備がされるまでしばらくフェンスで囲まれて空地としてあるわけですが、そこを住民が暫定利用できる方法を市と一緒に考えているところです。その時に住民のほうの主体を作っていかなければならないので、今年度ワークショップの経験が豊富な金先生にも入っていただいて、何ができるのかまたできないのか、今年度ワークショップを行って、そこでキーマンを見つけて次年度の動きにつないでいければと考えています。しかし、実際は公園の暫定利用についても許可が得られているわけではないという状況です。

【E 委員】

プリムタウンの入居も来年ぐらいから本格的に始まりますが、地域コミュニティがなかなか追いつかないと思います。

既存の公園で行政が地域の要望を聞いて対応したことはあると思うのですが、公園づくりのところで一から始めるのはおそらく草津市では初めてだと思うので、実験なので失敗は成功のぐらいの大きな気持ちで取り組んでもいいと思います。

【C 委員】

以前彦根市で行っていた開発事例では、友の会のネットワークで募集して入居前に公園で遊ぶなど月に1回の交流会をして、入居したときにはすでに知り合いがいるという事例がありました。もしかしたら期間中に例えば月に1回ぐらいイベントがあるとかでもいいかもしれません。そういうことが地域づくりのハードルを越えるきっかけになればとも思いますが、組合や地権者とも話し合いながら進めていこうかと考えています。

また御相談させていただければと思いますのでよろしくお願いします。

【F 委員】

プリムタウンができた後の交通が一番気になる場所ですが、900戸ほどの住宅が5年ほどの間でできるという中で、社会実験は具体的にできるということで行っていただけるのでしょうか。

【事務局】

道路の交通の流れについてはすでに行政の中で議論になっており、議会でも議論があって南草津はすでに交通渋滞になっている中でさらに渋滞になる、うまくやらないとさらにひどいことになってしまうというようなことも議論されております。また、駐輪場が不足するので、行政のほうでも対策は立てているかと思います。今回はそれとは別に住民がまちづくりに関わるということで考えていただければと思います。

【F 委員】

もう1つですが、SDG sに関連して、今、10月1日から施行される食品ロスが大きな問題で、草津市には食品を取り扱う企業さんが多いので悩まれているところも多くなっています。龍谷大学の先生が学生を連れて工場見学をして食品ロスを考える取組もありますので、食品ロスという観点からも何かあれば良いと思います。

【座長】

ありがとうございます。SDG sとの関わりで言うとその中に食品ロスの対策も入っていて、新しい法律からも食品ロスの削減というのは社会的に必要性がますます高まっていると思います。また、食品ロスについては例えば奈良のような観光地でも大きな課題となっており、私も相談を受けたことがあります。次年度以降で例えば食品ロスを含めて、この中でするのか別のところでするのかを考えてみてはどうかと思います。

【E 委員】

商工会議所でもセミナーを単発で行っていますが、現在はまだ体系立っておらず模索しているところなので、食を切り口に産学連携、特に南草津には飲食業が集積しているので、UDCBK とともに考えていきたいと思います。

また、交通の方でも、渋滞は特に南草津のほうはひどく、先日、県知事にも伝えたところですが、今、社会の健康、通勤のストレスに関わる関心ごとなので、お仲間に入れていただければと思います。

【座長】

朝の渋滞については、立命館大学やパナソニックの通学や通勤の際など、数年前から大きな課題だと思っています。すぐには解決策が見えてこない課題かと思っていますが、南草津駅の西口と東口で仕分けをして社会実験をすることなどで少しずつやっていくと伺っています。

【G 委員】

アンケートをされるということですが、参加者だけにされるということですか。

【事務局】

はい。

【G 委員】

UDCBK は案外知られていないと思うので、一般の方々へ UDCBK のやっていることの PR を兼ねて、アンケートで知ってもらえたらと思います。

また、もう一点。地域再生計画ですが、今、第6次総合計画や都市計画マスタープランの策定中ですので、それらに対してこちらから提案できるものがあればと思います。

もう一点。地元としては大江霊仙寺線がプリムタウンのところで終えますがその先を何とかしてほしいという事と、平野南笠線がその道に貼り付いてくるので交通を早く整備できないかという事を県や市に要望しています。草津市では南北線はほとんどできているのに東西線が弱く、たちまちプリムタウンのところの交通の処理を何とかしてほしいと思っています。

また、イオンモールの近くに住んでいる人は、東側に行くことはほとんどなく、イオンモールもありますが買い物は大津の方へ行くので、大津市も含めた生活行動を考えてほしいと思います。実際、駅周辺、琵琶湖側、山側など、高齢化が進んでいるところとないところなど、草津市の中でもいろんなパターンの生活様式が点在しているので、それらを何とかミックスできないかと思っています。

【座長】

今おっしゃったのは、草津市の都市構造全体を俯瞰したときに現状がどうなっているのか、あるいは交通に引き付けて言うとそこに住んでいる人の動線がどうなっているのかということを抑えたいうで考えてほしいということだと思います。また、域内交通という点では東西線をどのように改善していくのかということなども課題だと思います。

【B 委員】

第6次総合計画審議会の会長をしておりますので一言。総合計画は、12月の会議で課題の洗い出しをして年明けに具体的な構想案が出てくる予定ですが、地域再生計画は立地適正化計画と交通戦略と三位一体のようなかたちになっている中で、交通戦略をどうしていくのかは本当に重要な課題だと考えています。また、東西線や南北線について、域内交通をどうしていくのかということは特に琵琶湖畔の3小学校区に深く関わっていると考えていまして、市との意見交換も密接にさせていただいています。

それらがどのように進むのか重要な課題となってほしいと思いますし、また第6次総合計画の中でも何らかのかたちで反映していければいいなと思いますので、いろんな方との意見交換の中で伝えていきたいと思っています。

【事務局】

都市計画マスタープランのほうですが、都市計画部も例えば委員が集まる場にUDCBKを使っているのので、事務局としても時間が許せば入って議論に参加してお互いの考え方を認識する機会を設けていきたいと思います。

また、先ほどから御意見をいただいておりますが、食品ロスや通勤のストレス等、世間で関心が高いことなどは後半のセミナーの組み立てをこれからする中で参考にさせていただきます。また、各大学のほうで研究している方がいるとか、他市と行っている事例などを教えていただけると組み立てに助かります。UDCBKのスタッフだけでは偏りができますので、懇話会の委員の方から話題提供いただき、そのような組み立てができる新たなUDCBKのファンができるかと思っておりますので、ぜひ御協力をお願いします。

あとアンケートの方ですが、一般の方に向けて独自で取るのは難しいとは思いますが、他の課で行っているアンケートで例えば「UDCBKを知っていますか」などの問いを入れることができるかなど、確認してできることから始めていければと思います。

【座長】

今日はかなりいろんな意見が出ましたが、事務局のほうでも引き取って検討していただければと思います。

【C委員】

最後にいいですか。今ただ単にアーバンデザインの話をしている状態になっていますが、南草津駅の東西のロータリーを自家用車と公共交通と分けることで広場空間を広げることの可能性があると考えるので、市民や企業と協力し合って具体的に描いてみるなど、少し専門的な手が入って絵を描くということが重要かと思っております。

市の予算しかない中で、本当にやったほうがいいことをどのように外部委託ができるかなども議論できればと思います。

ただワークショップをして終わるだけだと少しむなしいので、少し専門家の手が入ることで見え方や残り方が全然違ってくると思います。

【座長】

ありがとうございます。それでは今日はこれで終了します。

事務局どうぞ。

【事務局】

皆様、長時間にわたり御議論いただき、ありがとうございました。

本日の御意見をいただいたものは事務局で引き取らせていただいて早急に対応できるものはしますが、何分懇話会は年3回で、次回は2月なので、もしかすると、それまでの間にメールで御意見を求めることがあるかもしれませんが、そのときには御協力いただけると非常に助かります。